

❖ 科目名 Course Title			
人間と文化 誰でもプログラミング I (秋ターム)			
❖ 担当教員 Instructor			
布施 泉			
❖ 開講学期 Semester	後期	❖ 対象学年 Year	1～
❖ 履修可能人数 Capacity	5 (遠隔) 制限なし (対面)	❖ 単位数 Number of Credits	1
❖ 授業形態 Type of Class	講義		

❖ キーワード Key Words			
プログラミング, 情報活用能力, オブジェクト指向, Ruby			
❖ 授業の目的 Course Objectives			
❖ 授業概要 Course Description			
<p>情報社会における学問の基礎力として、コンピュータと会話するプログラミングについて学ぶ。初歩から始め、課題の解決を通して、実践的に学ぶ。</p> <p>本講義では、オブジェクト指向型のプログラミング言語として、原則、Rubyを用いる。Rubyは、日本発の代表的なプログラミング言語で、オープンソースとして、世界中で広く使われている。</p>			
❖ 到達目標 Course Goals			
<p>初心者を前提に、プログラミングの基本から始め、簡単な応用課題に挑戦し解決する。応用課題の内容は、例示するが、原則、先生と相談して決める。</p> <p>プログラミングの基礎としての到達目標は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 判断分岐、繰り返し等の処理を適切に行えるようになる 2) 課題に合わせたプログラミングを自立的に思考できるようになる 3) アルゴリズムについて学び、問題解決の方法が一通りではないことを学ぶ 			
❖ 授業計画 Course Schedule			
<ol style="list-style-type: none"> 1) 基礎課題を通してプログラミング言語に慣れる。 2) 指定された基礎課題を解決し、その結果を提出する。 3) 提示されたミニ応用課題を解決し、その結果を提出する。 			
❖ 成績評価 Grading System			
<p>成績評価は、授業回数の7割以上出席した者について、積極的な学習態度（出席状況を含む）（20%）、課題提出（60%）、ミニ応用課題に関するプログラムとレポート（20%）に基づいて行う。それぞれの項目により到達目標の達成度を評価する。なお、「A+」は履修者数の上位5%以内を目安とする。</p>			
❖ テキスト Textbooks			
❖ 参考書 Reading List			
❖ 準備学習 Homework			
<p>大学設置基準に従い、8回の授業時間（高々16時間）の他、授業時間外でのプログラム作成等を考慮した内容をもって構成する。</p>			
❖ オフィスアワー Office Hour			

❖連絡先 (E-mail) E-mail
❖質問・相談への対応方法Contact Information
❖履修上の注意Notes
❖備考Other Information
資料を用意しますので、教科書等は、特に必要ありません。教育用コンピュータシステムを使って行います。一部の教室では、双方向遠隔授業にて行う予定です。

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外的人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。